

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第41週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例、百日咳 15 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	高鍋	40歳代	男	無症状病原体保有者	—
			50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱 O-111(VT2)
		高鍋	30歳代	男	無症状病原体保有者	O-157(VT2)
4類	つつが虫病	宮崎市	40歳代	男	—	発熱
5類	アメーバ赤痢	高鍋	50歳代	男	腸管アメーバ症	粘血便、しぶり腹、鼓腸
	後天性免疫不全 症候群	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
	梅毒	宮崎市	50歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹、眼症状

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群					症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	
5類	百日咳	宮崎市	3例		1	1	1		持続する咳、夜間の咳き込み、 スタックート、嘔吐、ウーブ、呼吸苦
		都城	5例	2	2			1	
		延岡	1例			1			
		日南	1例	1					
		高鍋	3例	2	1				
		中央	2例			2			

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 624 人(定点当たり 18.7)で、前週比 107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

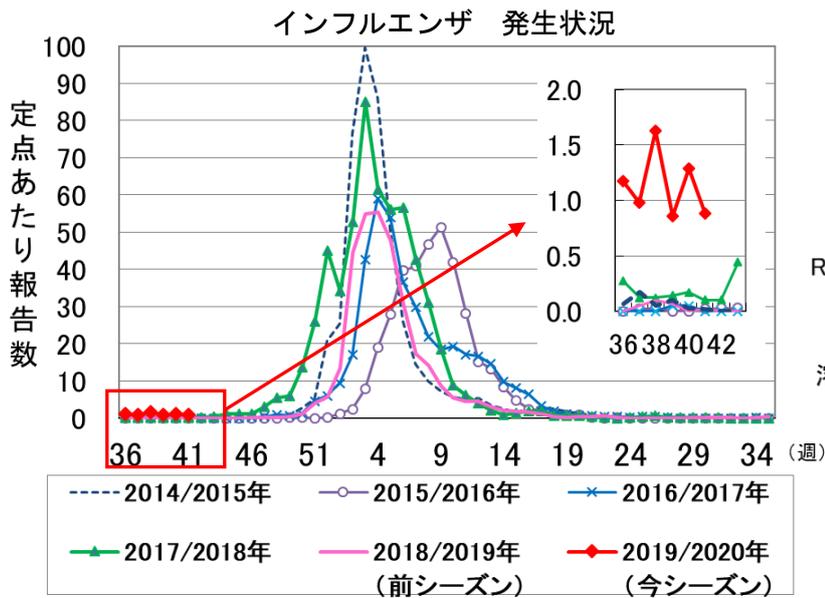
##### 【インフルエンザ】

報告数は 52 人(0.88)で、前週比 68%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.04)の約 22.0 倍である。宮崎市(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では 5 歳未満が全体の約半数を占めた。

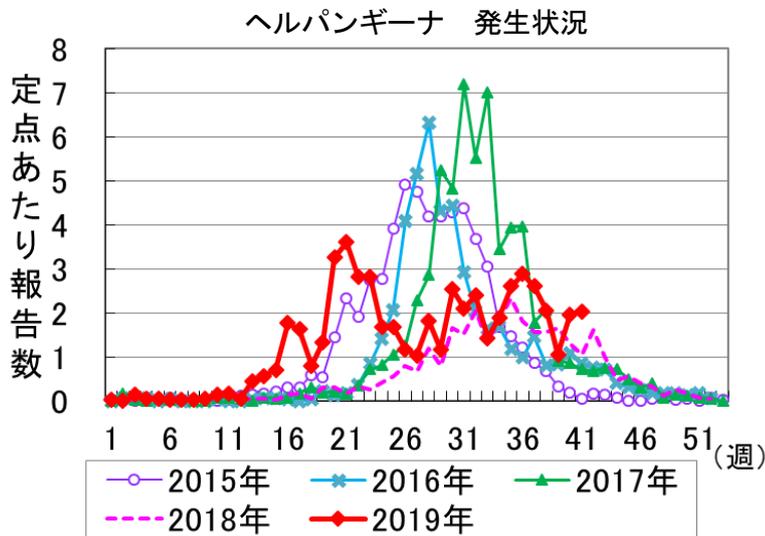
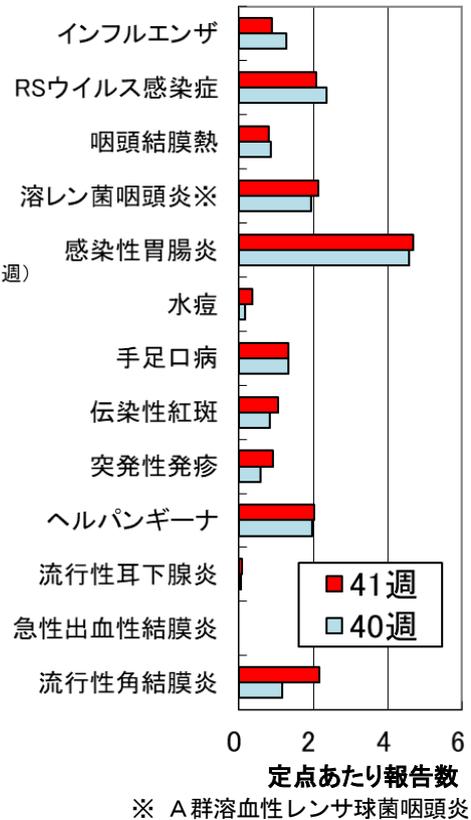
##### 【ヘルパンギーナ】

報告数は 73 人(2.0)で、前週比 103%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.79)の約 2.6 倍である。日南(6.0)、中央(4.0)、延岡(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では 2 歳以下が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



《前週との比較》



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があり、0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(1.3)、手足口病(6.0)、伝染性紅斑(3.0)
日南	ヘルパンギーナ(6.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・水痘(1.0)

## 🇯🇵 全国 2019 年第 40 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 40 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	306 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	100 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	9 例	A 型肝炎	4 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	19 例	日本紅斑熱	18 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	2 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	47 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	40 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	86 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	百日咳	289 例	風しん	9 例	麻しん	11 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 4,889 人(0.99)で前週比 108%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (0.13)の約 7.6 倍である。沖縄県(26.8)、鹿児島県(3.9)、福岡県(2.3)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2019年9月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比83%と減少した。また、昨年9月(2.2)の104%であった。

《疾患別》

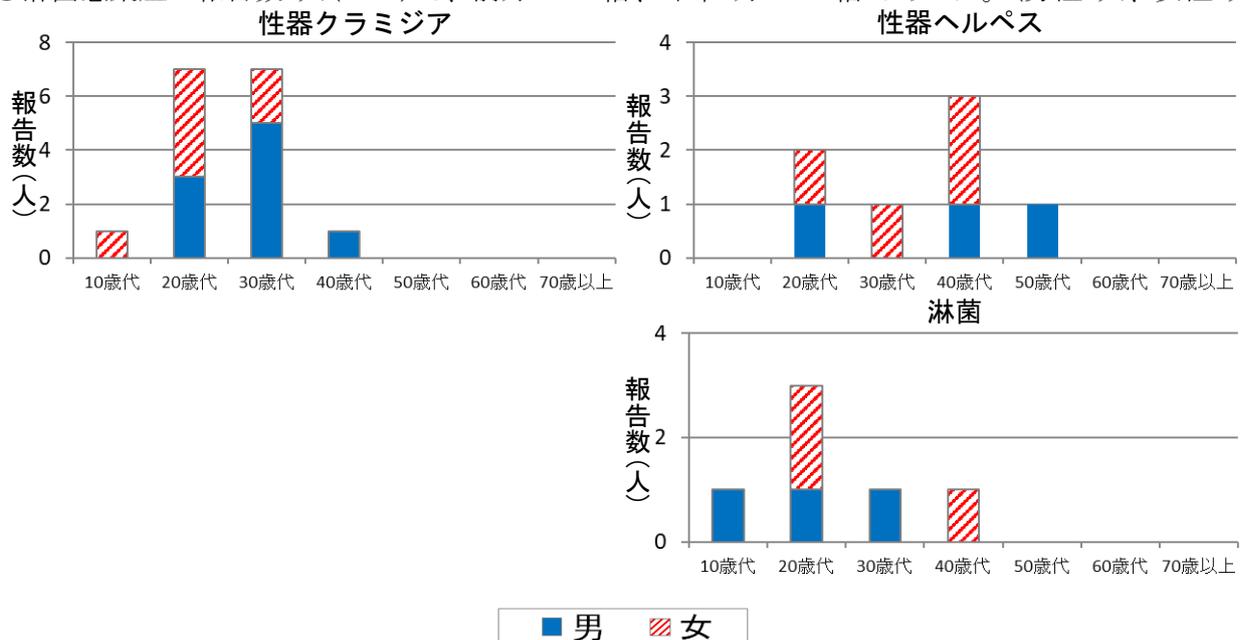
○性器クラミジア感染症：報告数16人(1.2)で、前月の約0.9倍、昨年9月の0.8倍であった。

20～30歳代が全体の約9割を占めた。(男性9人・女性7人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.9倍、昨年9月の約2.3倍であった。(男性3人、女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の1.2倍、昨年9月の1.5倍であった。(男性3人、女性3人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,436人(4.5)で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,343人(2.4)で前月比100%、性器ヘルペスウイルス感染症853人(0.87)で前月比107%、尖圭コンジローマ538人(0.55)で前月比102%、淋菌感染症702人(0.71)で前月比93%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比67%と減少した。また、昨年9月(1.9)の139%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約0.7倍、昨年9月の1.5倍であった。60歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,495人(3.1)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,361人(2.9)で前月比93%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症127人(0.27)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第41週(10月07日～10月13日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	76	52	32	8	1	3	3	2		2	1
	定点当り	1.29	0.88	2.00	0.80	0.14	0.60	0.60	0.33	0.00	0.33	0.50
RSウイルス感染症	報告数	85	75	22	10	10	7	3	8	1	4	10
	定点当り	2.36	2.08	2.20	1.67	2.50	2.33	1.00	2.00	1.00	1.00	10.00
咽頭結膜熱	報告数	31	29	9	9	2					3	6
	定点当り	0.86	0.81	0.90	1.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	6.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	70	77	36	7	8	8	1	4		4	9
	定点当り	1.94	2.14	3.60	1.17	2.00	2.67	0.33	1.00	0.00	1.00	9.00
感染性胃腸炎	報告数	165	169	20	46	11	32	22	6	1	21	10
	定点当り	4.58	4.69	2.00	7.67	2.75	10.67	7.33	1.50	1.00	5.25	10.00
水痘	報告数	6	13	3	1	5	2		1		1	
	定点当り	0.17	0.36	0.30	0.17	1.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	48	48	15	5	24	2					2
	定点当り	1.33	1.33	1.50	0.83	6.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	30	38	7	9	12	1	2	2		4	1
	定点当り	0.83	1.06	0.70	1.50	3.00	0.33	0.67	0.50	0.00	1.00	1.00
突発性発しん	報告数	21	33	8	8	4	5	2	1		4	1
	定点当り	0.58	0.92	0.80	1.33	1.00	1.67	0.67	0.25	0.00	1.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	71	73	23	4	13	18	1	8		2	4
	定点当り	1.97	2.03	2.30	0.67	3.25	6.00	0.33	2.00	0.00	0.50	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3			2					1	
	定点当り	0.06	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	13	8	3	2						
	定点当り	1.17	2.17	2.67	1.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1									1
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～41週)

2類感染症	結核	166例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	40例(2)	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	4例(1)
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例(1)	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	4例(1)
	水痘(入院例)	1例	梅毒	18例(1)
	破傷風	1例	百日咳	259例(15)
	麻しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲